

第三者評価結果（児童養護施設）

種別	児童養護施設
----	--------

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人きょうと福祉ネットワーク一期一会

②評価調査者研修番号

SK18140
26-044
第22福祉7

③施設名等

名称：	てらす峰夢
施設長氏名：	櫛田啓
定員：	25名
所在地(都道府県)：	京都府
所在地(市町村以下)：	京丹後市峰山町杉谷952-8
T E L：	075-62-1251
U R L：	
【施設の概要】	
開設年月日	1955/5/1
経営法人・設置主体(法人名等)：	社会福祉法人みねやま福祉会
職員数 常勤職員：	29名
職員数 非常勤職員：	3名
有資格職員の名称(ア)	社会福祉士
上記有資格職員の人数：	3名
有資格職員の名称(イ)	保育士
上記有資格職員の人数：	22名
有資格職員の名称(ウ)	臨床心理士
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称(エ)	栄養士
上記有資格職員の人数：	2名
有資格職員の名称(オ)	教員
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称(カ)	
上記有資格職員の人数：	名
施設設備の概要(ア)居室数：	8室
施設設備の概要(イ)設備等：	地域交流スペース、親子訓練室など
施設設備の概要(ウ)：	
施設設備の概要(エ)：	

④理念・基本方針

児童福祉の理念に基づき、子どもの権利を守り、最善の利益に配慮した援助を行う。
--

⑤施設の特徴的な取組

<p>社会福祉法人みねやま福祉会は、昭和25年に法人を設立して以降、京丹後地域において障害児・者から高齢者までさまざまな福祉ニーズに応え総合福祉施設として事業展開をされています。「創設の理念」(私たちの願い)を大切にされ、創設よりの思いを明文化するとともに理事長から新人研修や中堅者にも繰り返し継続的に職員に伝えていきます。</p> <p>また、法人として「きょうと福祉人材育成認証上位認証」を取得されており、人材核の・定着及び研修体系やキャリアパス制度の構築、資格取得支援や産休・育休取得支援などにも力を入れています。</p> <p>てらす峰夢は、養育環境の小規模化整備にともない平成30年5月1日に新築移転をしました。また、移転に伴い、施設名称を峰山乳児院付設幼児寮からてらす峰夢に変更しています。</p> <p>様々な理由にて家庭で生活できない子どもたちが誰かに自慢できるような家にしたいという想いを込めてつくられた家は、子どもが好きなものをテーマに「ロボの家」「積み木の家」「石ころの家」という名前を付けられました。定員は25名で小規模な生活単位の中で、子どもの想いに寄り添い、また子どもの主体的な活動を支え、様々な生活体験ができるように支援を行っています。特徴的な取組としては、乳児院に併設した児童養護施設として、乳児院と連携して、環境の変化に対し子どもにストレスを与えないよう配慮を行うとともに継続したケアを考えた処遇・家庭支援を行っています。また、法人内の他種別の施設との連携の中で、子どもの発達と家族の支援、高齢者施設との交流の中で豊かな社会体験をする機会を作っています。地域との交流や地域の子どもの為の事業など地域貢献にも積極的に取り組んでおり、地域住民、関係機関等と連携を図る中で、地域の重要な拠点として、信頼される施設となっています。</p>
--

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2019/8/1
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2020/12/24
前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成29年度

⑦総評

<p>◆特に評価の高い点</p> <p>【21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。】 ホームページにて法人の概要、第三者評価受診結果、苦情相談対応について情報公開を行っています。ブログやFacebookなどを多様に活用して、情報発信を行っています。また、PR動画を作成し、施設の取り組み紹介をして啓発等に努めています。</p> <p>【大項目4 地域との交流、地域貢献】 日常的な近隣住民とのコミュニケーション、様々な事業、職員や子どもの地域行事（地藏盆、町内の食事会）への参加等を通じて、地域住民との信頼関係を構築し、施設の理解促進につなげています。また、ボランティアや体験学習、インターンシップ、実習の受け入れ等も施設の理解につながっています。地域貢献として子育て相談事業、地域向けの子育て講演会、子ども遊び場を提供する「のびっこクラブ」、地域の親子が集まる「おひさまひろば」等、自施設の子どものみだけでなく、地域の子どもの育成にも積極的に取り組み地域におけるニーズ把握につなげています。</p> <p>【A2 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取り組みを実施している。】 権利ノートを活用して年齢に配慮して自分の権利についての説明を行っています。幼児には、子ども会議等で職員が作成した紙芝居にて幼児用の権利に関して説明しています。「被措置児童（虐待・体罰）への対応について」というマニュアルを整備してこれに沿って対応をするような仕組みがあります。自己肯定感を高めるためにスキミングやほめることを大切にするとともに子ども同士の喧嘩でも暴力行為についてその都度いけない理由を伝えて自他ともに大切にすることを促しています。</p> <p>【A10 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切に、子どもが自ら判断し行動することを保障しています。】 自主性を大切にした支援として、子どもが自分でできることは見守り、習い事（スイミングやピアノなど）や外出など子どもの希望をかなえられるように心がけています。つまづきや失敗の経験を大切に、主体的に問題を解決していくことができるよう個々の状況に合わせて支援にあたっています。また、忙しい時間帯でも職員が十分に援助できるように朝夕の職員配置を手厚くして子どもが安定した生活を過ごすことが出来るようにしています。</p> <p>◆改善が求められる点</p> <p>【19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。】□ 職員個々の取得資格や研修履歴を事業所で把握しています。外部研修に関する情報提供を行うとともに職員一人ひとりが研修に参加できるよう配慮しています。また、新人職員へのメンター制度による取り組みも行っていきます。しかし、スーパーバイザーを取り入れたスーパービジョンの体制の構築までできていませんでした。</p> <p>【39 災害時における子供の安全確保のための取組を組織的に行っている。】 各災害にかかる対応マニュアルが整備され、年間で様々な事態を想定（地震対応の訓練、水害時の対応、防犯対策など）した避難訓練を実施していました。子どもの安否確認の方法については一斉メールやラインを活用しており、避難訓練時に確認しています。しかし、BCP（事業継続計画）については現在検討中であり作成には至っていませんでした。</p> <p>【A8 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかりと受け止めている。】 自立支援会議やケース会議において生育歴や心性を考慮し、子どもが表出する感情や言動に注意しながら支援を行っています。大人は味方であることを常に伝えていきます。しかし、子どもにかかるアンケートは実施されていませんでした。</p>
--

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

<p>今回、特に高い評価を受けた4項目については、継続した取り組みを実施していきます。</p> <p>改善が求められた項目については、スーパーバイザーを取り入れたスーパービジョンの体制を構築するために検討していきたく考えています。子どもアンケートについては、早速令和2年度に計画の上、全児童対象に実施し子どもたちの意見を職員で共有しました。BCP（事業継続計画）についても作成に向けて進めていきます。</p> <p>今後も乳児院に併設した児童養護施設として、乳児院と連携して継続したケアを考えた処遇・家庭支援を行っていきます。また、地域との交流や地域の子どものための事業など積極的に取り組み、地域の重要な拠点として信頼される施設として施設運営をしていきます。</p>

第三者評価結果（児童養護施設）

共通評価基準（45項目） I 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		第三者 評価結果
①	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】		
理念・基本方針は明文化され、ホームページやパンフレットに明記している。年度当初の職員会議にて職員に周知をしている。保護者へは入所時や面会時やお便りなどで伝えている。子どもたちにも平仮名や図式等わかりやすい表記で、別途作成した資料で伝えている。「創設の理念」（私たちの願い）を明文化しており、創設よりの思いを職員に伝えている。		

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
	<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】		
全国経営協やワムネット、全国児童福祉施設協議会からのニュース等で全国の動向等情報収集をしている。法人内で各分野のプロジェクトがあり、分野ごとの課題について、検討・分析をする機会がある。法人内施設長会議、施設長と主任の参加する児童部門の月一回プロジェクト会議にての経営・運営について協議をしている。地域のニーズについては地域対象のアンケートを実施(約200件分)。また、要保護児童対策地域協議会等のデータから対象となる子どもたちの分析を行っている。		
②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a
	<input type="checkbox"/> 経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】		
経営状況については理事会で報告を行っている。主に法人の本部事務局が主体となり、バランスシートを作成して経営状況に関する分析を行っている。子どもの最善の利益を考えつつ、稼働率や入隊所の状況を把握しながら、経営面を意識するようになっている。職員には、賞与の時期に支給率の説明と共に、法人からの「理事長コメント」を踏まえつつ運営状況についての課題や状況の説明を行っている。		

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果
①	<p>4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。</p>	<p>a</p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p>
【コメント】		
法人の中長期計画をふまえ各事業所の中期計画を策定して目標を明確にしている。計画の策定にあたっては新しい社会的養育ビジョン検討会報告及びその進捗状況を確認するとともに、策定ワーキンググループやコンサルティング会社などの力を活用しながら策定している。		
②	<p>5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。</p>	<p>a</p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p>
【コメント】		
中長期計画を踏まえた単年度計画を策定している。内容については実行可能なものであり、評価を行える内容となっている。毎月、「現況報告」を作成し、中間の振り返りも行っている。		
(2) 事業計画が適切に策定されている。		
①	<p>6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等が)されており、理解を促すための取組を行っている。</p>	<p>a</p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p>
【コメント】		
現場職員の意見を取りまとめた単年度の事業計画を策定している。リーダー会議において半期ごとに進捗状況の振り返りを行い、後半に向けての計画の見直しをしている。職員に対しては職員会議にて説明を行っている。		
②	<p>7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、子どもや保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を子ども会や保護者会等で説明している。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、子どもや保護者等がより理解しやすい工夫を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画については、子どもや保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。</p>	<p>a</p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p>
【コメント】		
保護者に対しては面会時等において説明を行っている。ホームの取り組みについて子どもたちにフロー図を用いて事業計画の内容をわかりやすく説明している。		

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者 評価結果
①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
	<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容について組織的に評価(C: Check)を行う体制が整備されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

グループ会議やリーダー会議、職員会議などの仕組みが整備され、PDCAサイクルに基づき、養育や支援について分析や検討を行っている。第三者評価の評価基準を自己評価基準として用いており、年1回、自己評価している。

②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

自己評価を実施してその結果を職員会議等で共有し、職員全体で課題を明確にしている。明らかになった課題については随時改善を図っている。

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		第三者 評価結果
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

「職務分掌表」を整備しており、自らの役割と責任を明確にして職員にも配布している。ホームページで施設長の責任を対外的に表明している。リーダー会議、職員会など各会議に施設長が参加をし助言等を行っている。管理者の不在時の権限責任についても「職務分掌表」に明記している。

②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者（取引事業者、行政関係者等）との適正な関係を保持している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	○

【コメント】

経営協、ワムネットより情報収集するとともに、研修に参加をしている。本部から各事業所に情報提供する仕組みがある。「サイボウズ」を活用し、法令のリストなどを見ることができるようになっている。遵守すべき法令の把握として、法改正のたびに法人会議にて入手した情報や、研修等にて学んだ内容を施設長から職員に周知している。定款細則に業者等の取引についての基準等を明記しており、それを遵守している。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	○

【コメント】

内部・外部研修を通じて支援の向上についてリーダーシップを発揮している。施設長自らが職員研修の講師を行う機会も多く、その中で必要な考え方を伝えることや、人事考課の面談時に職員からの声を聞いている。また、自らも会議や研修に参加して自己研鑽に努めている。

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設（法人）の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○

【コメント】

「総合品質管理組織」を法人内に設置し、人材、品質、地域開発の三つの視点から分析を行い、改善に向けた取り組みを行っている。人事、労務に関するデータをもとに、有給休暇の取得をしやすいような具体的な取り組み（バーズデー休暇やファイブステップ休暇の創設など）をしている。また、時間外労働をなるべく減らすように、勤務調整等の取り組みを行っている。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	○
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	○
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	○
【コメント】 法人内に人材確保チーム「スキッパー」を組織して、人材確保に取り組んでいる。求職者の視点を大切にしながら活動し、特にIターンによる入職者の増につなげており、効果的な人材確保を実施している。中期経営計画に人材確保の方針が明確化されている。必要な職員像については、研修計画(「研修体系図」)等で明確にしており、資格保有者(保育士、社会福祉士など)を計画的に採用している。きょうと福祉人材育成認証の上位認証を取得している。ホームページで動画を作成し、広報を強化している。加算職員の配置にも努めている。		
②	15 総合的な人事管理が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができています。	○
	<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	○
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	○
【コメント】 人事考課制度を導入しており、キャリアパス制度と連動するとともに職務の成果や貢献度を評価している。個人の目標管理を行い、自己評価後に考課者が評価をし、面談をする仕組みがある。職員アンケートを行い、職員の意見を把握するようにしている。ステップアップ休暇やバースデー休暇(有給の連休)を設け、対象者には必ず取得するように促している。組織風土診断を毎年、法人として取り組んでおり、各施設の評価、分析結果が出るため、それを踏まえて勤務改善につなげている。また、法人本部を中心に次世代育成支援について検討することや、入所施設従事者手当を設けるなど、職員の処遇改善への取り組みを実施している。		
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづき労務管理に関する責任体制を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	○
	<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	○
【コメント】 女性のみならず男性の育休を推奨している。子育てをサポートする企業に与えられるくるみんの認証を取得している。法人内の福利厚生として、民間社会福祉施設職員共済会及びソウエルクラブへ加入し、職員が多様な福利厚生サービスを受けることができるよう整備している。加えて、法人内互助会についても組織し、クリスマス会等のイベントで法人内職員間での交流を図っている。きょうと福祉人材育成認証制度の上位認証を取得している。		

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

必要な職員像について、研修計画(「研修体系図」)等で明確にしてキャリアパスに基づく人事管理が行われている。また、人事考課制度の仕組みとして「DO-capシート」に記載する職員個々の目標を設定し、年2回の面談を行なって進捗をサポートする等、育成の取り組みが行われている。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

中期経営計画に人材確保等の方針が明確化されている。必要な職員像については、研修計画(「研修体系図」)等で明確にして年間研修計画を策定している。けんっ集としては外部研修、階層別研修、児童部門研修が整備されている。研修報告会を実施し職員間の共有化を図っている。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	b
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	<input type="checkbox"/>
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

職員個々の取得資格や研修履歴を事業所で把握している。新人職員へのメンター制度による取り組みを行っている。外部研修に関する情報提供を行うとともに職員一人ひとりが研修に参加できるよう配慮している。しかし、スーパーバイザーを取り入れたスーパービジョンの体制の構築まではできていない。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	○

【コメント】

実習生受入マニュアルを整備している。実習生の受入を積極的に行っており、社会福祉士、保育士実習の受入をしている。基本的には泊まり込み実習としている。それぞれの実習カリキュラムを組み、学校と連携しながら指導をしている。京都施設実習連絡協議会の研修を指導者が受講している。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

第三者
評価結果

①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の有存在意義や役割を明確にするように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	○

【コメント】

ホームページにて情報公開を行っている。第三者評価受診結果についても、ホームページ内にリンクを貼り、閲覧できるよう設定している。また、苦情相談対応の内容について、ホームページに公表している。広報紙を発行配布を行っている。ブログやFacebookなどを多様に活用して、情報発信を行っている。PR動画を作成し、見学者や地域の方の施設の取り組み紹介や施設の理解をしてもらうようにしている。

②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	○

【コメント】

法人内の監事による内部監査を実施している。法人の経理については会計監査人を導入しており、外部専門家による監査を受けている。事務分掌や経理規定を整備し、職員にも周知している。

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	<input type="checkbox"/>
	(児童養護施設) <input type="checkbox"/> 学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】 事業計画に地域とのかかわりについて明確化している。お祭り、地蔵盆、町内の食事会に参加している。日常的に近隣住民とのコミュニケーションを行っている(「のびっこクラブ」の開催やスペースの解放など)。学校の友達が子どもの部屋に遊びに来ている。		
②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】 ボランティア受け入れに関する基本姿勢及びマニュアルを整備している。散髪ボランティアや、米軍の英会話ボランティアを受け入れている。		
(2) 関係機関との連携が確保されている。		
①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>
【コメント】 関係機関のリスト化を行っている。職員室に配架し、職員がいつでも見られるようにしている。要保護児童対策地域協議会や児童相談所との連携を日常的にしている。日中一時支援事業を行なっているため、障害者部会にも参加し、障害児支援の関係機関との連携も図っている。		

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	○

【コメント】

地域向けに子育て講演会を行っている。子育て相談事業や子どもの遊び場をみねやま福祉会の職員が引き継いで「夜の市」として実施している。また、「おひさまひろば」という地域の親子が集まる機会を定期的に設け、交流を通じて地域におけるニーズ把握につなげている。

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	○

【コメント】

「のびっこクラブ」、「ショートステイ事業」、「夜の市」などの取り組みを通して地域貢献を行っている。京都府のわかプロジェクトに参画している。施設内の「石ころの家」のスペースを開放してサロン活動を行っている。AEDを設置している。

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。 <input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。 <input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	a ○ ○ ○ ○ ○
【コメント】 理念や基本方針に子どもを尊重した内容を明示するとともに、権利擁護についてはマニュアルに明記している。全国児童養護施設協議会の権利擁護に関するミニ冊子を名札に携帯している。施設内研修を職員全員に毎年、実施している。全国児童養護施設協議会の自己点検をもとに年に3回振り返りを行っている。		
②	29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。 <input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。 <input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。 <input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 子どもや保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。	a ○ ○ ○ ○
【コメント】 「プライバシー保護について」として明文化するとともに、それに基づき支援を行っている。基本的に個室を提供し、生活全般についてプライバシーに配慮している。写真等の取扱いについては入所時に保護者から同意書を取っている。		
(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
①	30 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。 <input type="checkbox"/> 理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。 <input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。 <input type="checkbox"/> 施設に入所予定の子どもや保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。 <input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。 <input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	a ○ ○ ○ ○ ○
【コメント】 ホームページ、パンフレット等で情報を発信している。子どもにはわかりやすい図解したもので入所に対する説明を行う準備ができています。見学等は随時対応をしています。施設の紹介動画も作成している。		

②	31 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等が自らの状況を可能な限り認識し、施設が行う養育・支援についてできるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、子どもや保護者等の自己決定を尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、子どもや保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	○
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な子どもや保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	○

【コメント】

理念や基本方針等入所時の手続きマニュアル、自立支援計画に基づいて、説明をして同意を得ている。保護者の同意が難しいケースについては個別に対応している。子どもにはわかりやすい図解したものやてらす峰夢の生活をイラストにして入所に対する説明を行っている。

③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	○	

【コメント】

退所の手続きについてマニュアルが作成されている。退所にあたっては児童相談所および対処先の支援者とケース会議を行い情報提供を行うなど継続性に配慮している。現在の状況について関係機関への引き渡し時の書類フォームを準備している。アフターケアについても手順が示されているとともに家庭訪問等を行っている。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。

第三者
評価結果

①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもへの個別の相談面接や聴取等が、子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもへの個別の相談面接や聴取等が、子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員等が、子どもの満足を把握する目的で、子ども会等に出席している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもへの個別の相談面接や聴取等が、子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもへの個別の相談面接や聴取等が、子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	○
<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	○	

【コメント】

子ども会議（月1回）や意見箱にて児童の意向調査や行事などの要望の聴き取りを行い、意見を反映している。個別の時間を積極的に取って子どもからの意見を聞く機会を設けている。入浴時などの機会を活用して子どもの声を聴いている。

(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を子どもや保護者等に配布し説明している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、子どもや保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、子どもや保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た子どもや保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	<input type="radio"/>

【コメント】

苦情解決のシステムが確立している。「利用者の意見・要望等の苦情解決実施要綱」をマニュアルとして整備している。「苦情窓口の設置について」を明文化し、保護者への周知や玄関での掲示を行っている。また、保護者にはプリントを配布し説明を行っている。意見箱を設置している。記録を適切に保管している。苦情相談対応の内容について、ホームページに公表している。

②	35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	<input type="radio"/>

【コメント】

意見箱を設置している。運用についてフロー図で手順を定め、対応できるようにしている。相談ができる仕組みについてフロー図にし子どもたちに説明している。

③	36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の養育・支援の実施において、子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

「利用者の意見・要望等の苦情解決実施要綱」を整備している。要望等があった場合は、職員間で検討され、適切に対応している。内容によってはグループ会議で検討し、共有後に本人に伝えている。相談できるスペースを家とは別に確保している。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。		第三者 評価結果
①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	<input type="checkbox"/>
	【コメント】 マニュアルを整備して事故発生時及び救急救命の対応手順を定めるとともに責任者を明確にしている。収集したヒヤリハット事例や事故報告書について、リスクマネジメント委員会(月1回)で分析・検討し、職員会議にて共有している。管理ソフトでも閲覧できる仕組みになっている。危険箇所や設備等の点検を毎月行っている。消防署と連携をして防犯訓練や普通救急救命講習を実施している。マニュアル見直しの規定を設けて定期的に見直しを行っている。	
②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】 感染症対応マニュアルが策定されている。看護師による研修を実施している。感染予防キットを整備するとともに手洗い、うがいを徹底している。衛生推進員を設置している。また、職員会議の際に、流行している病気についての説明や気を付けるべき対応方法について説明している。		
③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	b
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても養育・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	<input type="checkbox"/>
【コメント】 対応マニュアルが整備されている。年間で様々な事態を想定(地震対応の訓練、水害時の対応、防犯対策など)した避難訓練を実施している。子どもの安否確認の方法については一斉メールやラインを活用しており、避難訓練時に確認している。火災訓練は毎月行っている。しかし、BCPについては現在検討中である。3日分の備蓄を整備し定期的に点検をしている。		

2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	<input type="radio"/>
【コメント】 マニュアルとして「1日の生活のながれ」を整備し、権利擁護やプライバシーの保護について明記している。自己評価においてマニュアルの内容を確認している。		
②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や子ども等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	<input type="radio"/>
【コメント】 マニュアルの見直しの規定が整備されており、それに基づいて定期的（年2回）に見直しを行っている。運営上、必要な内容に応じて、職員より意見を聞いてマニュアルに反映する仕組みはある。		
(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員（種別によっては施設以外の関係者も）が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な養育・支援の内容等が明示されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員（種別によっては組織以外の関係者も）の合議、子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	<input type="radio"/>
【コメント】 自立支援計画の作成手順を定めており、多職種連携（心理士、ファミリーソーシャルワーカー）で、計画書立案ができるような仕組みを明確にしている。3か月に一度見直しをしている。困難ケースについては、必要に応じて児童相談所や学校、病院などのケースカンファレンスを開催している。		

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○

【コメント】

自立支援計画の策定に関する作成手順が明文化されており、見直しの基準も定められている。3か月に1回、見直しを行うとともに緊急の見直しが必要な場合は手順に沿った変更を行っている。(フロー図あり。作成手順及び関係職員への報告検討システム)」)

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○

【コメント】

パソコンのネットワークシステムにて記録が行われており、職員間の情報共有が行われている。記録に関するマニュアルが策定されている。記録策定時、個別支援計画が画面上にあり、個別支援計画を意識した記録が行える工夫がある。法人内で毎年、観察と記録の研修を実施している。職員会議、グループ会議、リーダー会議、毎日行われるプチミーティング等で必要な内容については情報共有をしている。

②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、子どもや保護者等に説明している。	○

【コメント】

「文書管理規定」に記録管理の責任者を明記するとともに保管、保存、廃棄、持出しに対して規程している。「個人情報取り扱いについて」というマニュアルに個人情報の開示請求について定めている。個人情報保護に関する職員研修は職員会議で行っている。

内容評価基準（25項目）

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護		第三者 評価結果
① A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	<input type="checkbox"/> 子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの権利擁護に関する取組が周知され、規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。	○
	<input type="checkbox"/> 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの思想・信教の自由について、最大限に配慮し保障している。	○
		a

【コメント】

子どもに権利擁護についてのマニュアルが策定されている。マニュアルに沿った養育・支援が行われている。CAP研修と権利擁護研修を年に一度実施している。それをふまえ、グループ会議で権利侵害等について考える機会を持っている。また、自己評価の際に振り返りを行っている。児童相談所との面接の際に権利擁護ノートについて説明している。

(2) 権利について理解を促す取組		第三者 評価結果
① A2 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。	<input type="checkbox"/> 権利についての理解を深めるよう、年齢に配慮した説明を工夫し、日常生活を通して支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの年齢や状態に応じて、権利についての理解を深めるよう、権利ノートやそれに代わる資料等を使用して、生活の中で保障されるさまざまな権利についてわかりやすく説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で子どもの権利に関する学習機会を持っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりがかけがえのない大切な存在であり、自分を傷つけたりおとしめたりしてはならないこと、また、他人を傷つけたり脅かしたりしてはならないことが、日々の養育の中で伝わっている。	○
	<input type="checkbox"/> 年下の子どもや障がいのある子どもなど、弱い立場にある子どもに対して、思いやりの心をもって接するように支援している。	○
		a

【コメント】

権利ノートを活用して年齢に配慮して自分の権利についての説明を行っている。また、子ども会議等で職員が作成した紙芝居にて幼児用の権利に関して説明している。「被措置児童（虐待・体罰）への対応について」というマニュアルを整備してこれに沿って対応をするような仕組みがある。自己肯定感を高めるためにスキンシップやほめることなどを大切にするとともに子ども同士の喧嘩でも暴力行為についてその都度いけない理由を伝えている。

(3) 生き立ちを振り返る取組		第三者 評価結果
① A3 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生き立ちを振り返る取組を行っている。	<input type="checkbox"/> 子どもの発達状況等に応じて、適切に事実を伝えようと努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 事実を伝える場合には、個別の事情に応じて慎重に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 伝え方や内容などについて職員会議等で確認し、職員間で共有している。	○
	<input type="checkbox"/> 事実を伝えた後、子どもの変容などを十分把握するとともに、適切なフォローを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりに成長の記録(アルバム等)が用意され、空白が生じないように写真等の記録の収集・整理に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 成長の過程を必要に応じて職員と一緒に振り返り、子どもの生き立ちの整理に繋がっている。	○
	a	

【コメント】

児童相談所と連携して対応の在り方について検討し、職員間で共有し一貫性を持ったかかわりに努めている。子ども一人ひとりに成長記録のアルバムを用意している。子どもが自分の生き立ちを整理するライフストーリーワークにも活用している。生き立ちを話す場合は、会議を設け、多職種（心理士、ファミリーソーシャルワーカー等）で検討を行っている。

(4) 被措置児童等虐待の防止等

①	A4 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
	□体罰や不適切なかかわり(暴力、人格的辱め、心理的虐待など)があつた場合を想定して、施設長が職員・子ども双方にその原因や体罰等の内容・程度等、事実確認をすることや、「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがとられている。	○
	□不適切なかかわりの防止について、会議等で具体的な例を示すなどして職員に徹底し、行われていないことを確認している。また、不適切なかかわりを発見した場合は、記録し、必ず施設長に報告することが明文化されている。	○
	□子どもが自分自身を守るための知識、具体的方法について学習する機会を設けており、不適切なかかわりの具体的な例を示して、子どもに周知し、子ども自らが訴えることができるようにしている。	○
	□被措置児童等虐待が疑われる事案が生じたときに、施設内で検証し、第三者の意見を聞くなどの迅速かつ誠実な対応をするための体制整備ができており、被措置児童等虐待の届出・通告があつた場合には、届出者・通告者が不利益を受けることのない仕組みが整備・徹底されている。	○
	□被措置児童等虐待の届出・通告制度について説明した資料を子ども等に配布、説明している。また、掲示物を掲示するなどして、子どもが自ら訴えることができるようにしている。	○

【コメント】

「被措置児童虐待（虐待）対応について」というマニュアルに虐待防止に関する対応を明記している。就業規則、管理規程、法令順守規定にて届出者、通告者が不利益にならないように規定している。「おとなからのぎゃくたいについて」というプリントで自身が虐待を受けた場合の対応について説明している。

(5) 子どもの意向や主体性への配慮

①	A5 職員と子どもが共生の意識を持ち、生活全般について共に考え、快適な生活に向けて子ども自身が主体的に取り組んでいる。	a
	□快適な生活に向けての取組を職員と子どもが共に考え、自分たちで生活をつくっているという実感を持たせるとともに、施設の運営に反映させている。	○
	□子どもが自分たちの生活における問題や課題について主体的に検討する機会を日常的に確保している。	○
	□余暇の過ごし方について、子ども自身が自由に選択し、一人ひとりの趣味や興味に合った活動が行えるように支援している。	○
	□子どもの状況に応じて、金銭の管理や計画的な使い方などを学び、金銭感覚や経済観念が身につくよう支援している。	○

【コメント】

子ども会議の実施や習い事など子ども自身が主体的に取り組めるよう支援をしている。共生の意識を持つために、一緒に掃除したり食事作りを行っている。また、おやつ作りや外出など自発的な活動を尊重して対応している。お小遣い制を小学生から導入し、金銭感覚を育む取り組みにしている。

(6) 支援の継続性とアフターケア

①	A6 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。	a
	□子どもの生活の連続性に関して、施設全体でその重要性を理解し、入所や退所に伴う不安を理解し受け止めるとともに、子どもの不安を軽減できるように配慮している。	○
	□入所した時、温かく迎えることができるよう、受け入れの準備をしている。	○
	□子どもがそれまでの生活で築いてきた人間関係などを、可能な限り持続できるように配慮している。	○
	□家庭復帰や施設変更にあたり、子どもが継続して安定した生活を送ることができるよう、支援を行っている。	○

【コメント】

入所時には、2週間程度集中記録を取り、子どもの様子を把握している。入所後も可能な限り家族との面会を推奨している。措置変更時には本人も同行して移行先の施設見学を行っている。また、退所前に児童相談所や支援先等と関係者会議を開催するとともに家庭訪問を行うなど安定した生活ができるように支援をしている。

②	A7 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 子どものニーズを把握し、退所後の生活に向けてリービングケアの支援を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 退所後も施設に相談できる窓口(担当者)があり、支援をしていくことを伝えている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 退所者の状況の把握に努め、記録が整備されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 行政機関や福祉機関、あるいは民間団体等と連携を図りながらアフターケアを行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 本人からの連絡だけでなく、就労先、アパート等の居住先からの連絡、警察等からのトラブル発生の連絡などにも対応している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 退所者が集まれる機会や、退所者と職員・入所している子どもとが交流する機会を設けている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

措置変更先に見学に行ったり、今までの生立ちを振り替える等退所後の生活に向けてリービングケアを行っている。退所後にいつでも相談できるように施設の電話番号を教えるとともにしおり等で自身の意思で施設に来ることを推奨している。児童相談所を通じて退所後の状況を把握している。必要に応じてファミリーソーシャルワーカーを中心に家庭訪問等を行っている。

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本		第三者 評価結果
①	A8 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。	b
	<input type="checkbox"/> 職員はさまざまな知見や経験によって培われた感性に基づいて子どもを理解し、受容的・支持的な態度で寄り添い、子どもと共に課題に向き合っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの生育歴を知り、そのときどきで子どもの心に何が起こっていたのかを理解している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもが表出する感情や言動のみを取り上げるのではなく、被虐待体験や分離体験などに伴う苦痛・いかり、見捨てられ感も含めて、子どもの心に何が起こっているのかを理解しようとしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもに行動上の問題等があった場合、単にその行為を取り上げて叱責するのではなく、背景にある心理的課題の把握に努めている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもたちに職員への信頼が芽生えていることが、利用者アンケートを通じて感じられる。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

自立支援会議やケース会議において生育歴や心性を考慮し、子どもが表出する感情や言動に注意しながら支援を行っている。大人は味方であることを常に伝えている。しかし、子どもにかかるアンケートは実施していない。

②	A9 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの基本的欲求を満たすよう努めている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 基本的欲求の充足において、子どもと職員との関係性を重視している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 生活の決まりは、秩序ある生活の範囲内で子どもの意思を尊重した柔軟なものとなっている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもにとって身近な職員が一定の裁量権を有し、個々の子どもの状況に応じて柔軟に対応できる体制となっている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 基本的な信頼関係を構築するために職員と子どもが個別に触れ合う時間を確保している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 夜目覚めるとき大人の存在が感じられるなど安心感に配慮している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

担当制の中で子どもと職員との関係性を重視した支援を行っている。基本的な信頼関係を構築するために個別に触れ合う時間を確保するとともにスキンシップを図っている。子ども会議等で生活の決まり事などをみんなで決めている。

③	A10 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切に、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもがやらなければならないことや当然できることについては、子ども自身が行うように見守ったり、働きかけたりしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員は必要以上の指示や制止をしていない。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもを見守りながら状況を的確に把握し、賞賛、励まし、感謝、指示、注意等の声かけを適切に行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> つまずきや失敗の体験を大切に、主体的に問題を解決していくよう支援し、必要に応じてフォローしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 朝・夕の忙しい時間帯にも、職員が子どもを十分に掌握、援助できるように、職員の配置に配慮している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

自主性を大切にした支援として、子どもが自分でできることは見守り、習い事（スイミングやピアノなど）や外出など子どもの希望をかなえられるように心がけている。つまずきや失敗の経験を大切に、主体的に問題を解決していくことができるよう個々の状況に合わせて支援にあたっている。忙しい時間帯でも職員が十分に援助できるように朝夕の職員配置を手厚くしている。

④	A11 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設内での養育が、年齢や発達の状況、課題等に応じたプログラムの下、実施されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 日常生活の中で、子どもたちの学びや遊びに関するニーズを把握し、可能な限りニーズに応えている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 幼児から高校生まで、年齢段階に応じた図書などの文化財、玩具・遊具が用意、利用されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 学校や地域にある子どもたちの学びや遊びに関する情報を把握し、必要な情報交換ができています。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもたちのニーズに応えられない場合、子どもがきちんと納得できる説明がされている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 幼稚園等に通わせている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 子どもたちの学びや遊びを保障するための、資源（専門機関やボランティア等）が十分に活用されている。	<input type="checkbox"/>	

【コメント】

年齢や発達状況に応じたおもちゃや教材等を用意して、年間目標がグループ、個人で立てられている。外出等の取り組みで社会性を身につける取り組みをしている。学校と懇談会を行ったり、3～5歳児はこども園に通わせている。ピアノ、英会話のボランティアを受け入れている。

⑤	A12 生活のいとなみを通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもが社会生活をいとなむ上での必要な知識や技術を日常的に伝え、子どもがそれらを習得できるよう支援している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもと職員が十分な話し合いのもとに「しなければならないこと」と「してはならないこと」を理解し、生活するうえでの規範等守るべき決まりや約束と一緒に考え作っていくようにしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 地域社会への積極的な参加を図る等、社会性を習得する機会を設けている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 発達の状況に応じ、身体の健康（清潔、病気、事故等）について自己管理できるよう支援している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 発達の状況に応じて、電話の対応、ネットやSNSに関する知識などが身につくよう支援している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

子ども会議等で様々な約束事については子どもと一緒に決めている。家での生活であいさつや靴を揃えること、洗濯など習得できるように支援をしている。地域の行事参加（バーベキュー、地蔵盆、ラジオ体操等）の外出時に参加することで挨拶や社会的なルールについて学べるように工夫している。電話の対応、ネットやSNSに関する知識などは学校で学んでいる。

(2) 食生活

①	A13 おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> 楽しい雰囲気食事ができるように、年齢や個人差に応じて食事時間に配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食事時間が他の子どもと違う場合にも、温かいものは温かく、冷たいものは冷たくという食事の適温提供に配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食事場所は明るく楽しい雰囲気、常に清潔が保たれたもとで、職員と子ども、そして子ども同士のコミュニケーションの場として機能するよう工夫している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 定期的に残食の状況や子どもの嗜好を把握するための取組がなされ、それが献立に反映されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 基礎的な調理技術を習得できるよう、食事やおやつをつくる機会を設けている。	<input type="radio"/>

【コメント】

少人数でアットホームな雰囲気での食事を行っている。調理はその場で行い、温かいまま食べられるようにしている。習い事などで遅くなる場合などは個別に対応している。日々のメニューは栄養士が聞き取りを行い、誕生日などの行事食は子どもの意見が反映するようにしている。基本的な調理技術を習得できるよう食事作りやおやつ作りの機会を設けている。

(3) 衣生活

①	A14 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 常に衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを着用している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 汚れた時にすぐに着替えることができ、またTPOに合わせた服装ができるよう、十分な衣類が確保されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 気候、生活場面、汚れなどに応じた選択、着替えや衣類の整理、保管などの衣習慣を習得させている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 洗濯、アイロンかけ、補修等衣服の管理を子どもの見えるところで行うよう配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 衣服を通じて子どもが適切に自己表現をできるように支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達状況や好みに合わせて子ども自身が衣服を選択し購入できる機会を設けている。	<input type="radio"/>

【コメント】

清潔で季節感にあった衣服を常に着用できるように配慮している。年齢に応じて、整理保管したり、職員と一緒に買いに行くようにしている。洗濯、縫物での補修、アイロンがけを職員が子どもの見えるところで行うようにしている。

(4) 住生活

①	A15 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもにとって居心地の良い安心安全な環境とは何かを考え、積極的に環境整備を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 小規模グループでの養育を行う環境づくりに配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 中学生以上は個室が望ましいが、相部屋であっても個人の空間を確保している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 身につけるもの、日常的に使用するもの、日用品などは、個人所有としている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食堂やリビングなどの共有スペースは常にきれいにし、家庭的な雰囲気になるよう配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 設備や家具什器について、汚れたり壊れたりしていない。破損箇所については必要な修繕を迅速に行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達や子どもの状況に応じて日常的な清掃や大掃除を行い、居室等の整理整頓、掃除等の習慣が身につくようにしている。	<input type="radio"/>

【コメント】

掃除や環境整備は子どもの年齢に応じて習慣づけをして自分の家を大切にするという意識が持てるようにしている。小規模グループケアで個人の空間も確保している。新しい建物で収納場所も多く工夫されており、片付けがしやすい環境となっている。独自に作成した生活空間チェック表に基づき、月に一度点検をしている。

(5) 健康と安全

①	A16 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの平常の健康状態や発育・発達状態を把握し、定期的に子どもの健康管理に努めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 健康上特別な配慮を要する子どもについては、医療機関と連携して、日頃から注意深く観察し、対応している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 受診や服薬が必要な場合、子どもがその必要性を理解できるよう、説明している。服薬管理の必要な子どもについては、医療機関と連携しながら服薬や薬歴のチェックを行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員間で医療や健康に関して学習する機会を設け、知識を深める努力をしている。	<input type="radio"/>

【コメント】

嘱託医による検診を2か月に一度実施している。慢性疾患のある児童については定期的な受診を行っている。年齢に応じて服用する薬の説明を行っている。医療についての学習を看護師を通じて行っている。

(6) 性に関する教育

①	A17 子どもの年齢・発達の状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a
	<input type="checkbox"/> 他者の性を尊重し、年齢相応で健全な他者とのつき合いができるよう配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に答えている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 性についての正しい知識、関心を持てるよう、年齢、発達の状況に応じたカリキュラムを用意し、活用している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部講師を招く等して、性をめぐる諸課題への支援や、学習会などを職員や子どもに対して実施している。	<input type="radio"/>

【コメント】

(職員も受ける)CAP研修や性教育プログラムを年齢に応じて実施している。男性職員の女兒との距離感は配慮することを心がけている。性をめぐる学習会を助産師を招いて行っている。

(7) 行動上の問題及び問題状況への対応

①	A18 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設が、行動上の問題があった子どもにとっての癒しの場になるよう配慮している。また、周囲の子どもの安全を図る配慮がなされている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設の日々の生活が持続的に安定したものとなっていることは、子どもの行動上の問題の軽減に寄与している。また子どもの行動上の問題が起きた時も、その都度、問題の要因を十分に分析して、施設全体で立て直そうと努力している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 不適切な行動を問題とし、人格を否定しないことに配慮をしている。職員の研修等を行い、行動上の問題に対して適切な援助技術を習得できるようにしている。暴力を受けた職員へ無力感等への配慮も行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> くり返し児童相談所、専門医療機関、警察等と協議を重ね、事態改善の方策を見つけ出そうと努力している。	<input type="radio"/>

【コメント】

暴力や暴言、不適切な行動があった場合、子どもの気持ちを受容しつつ同時に、そうした行為は許されないことを伝えている。問題行動が続く場合は児童相談所を含めた関係機関によるケース検討を行い、対応を行っている。情報は職員間で常に共有できるようにしている。また、職員は、グループ会議等で起きた問題について話し合う時間を持つとともに法人の権利擁護に係る研修やCAP研修などを受講し援助技術等を習得できるようにしている。

②	A19 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 問題の発生予防のために、施設内の構造、職員の配置や勤務形態のあり方について定期的に点検を行っており、不備や十分でない点は改善を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 生活グループの構成には、子ども同士の関係性、年齢、障害などへの配慮の必要性等に配慮している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 課題のある子ども、入所間もない子どもの場合は特別な配慮が必要となることから、児童相談所と連携して個別援助を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 大人(職員)相互の信頼関係が保たれ、子どもがそれを感じ取れるようになっている。子ども間での暴力やいじめが発覚した場合には、施設長が中心になり、全職員が一丸となって適切な対応ができるような体制になっている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 暴力やいじめに対する対応が施設だけでは困難と判断した場合には、児童相談所や他機関等の協力を得ながら対応している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

各家の構成メンバーは子ども同士の関係性、年齢等総合的に判断して決めている。問題があった場合は児童相談所と連携して対応するとともに必要に応じて保護者にも説明をしている。良い人間関係を職員が模範を示すようにしている。

(8) 心理的ケア

①	A20 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 心理的ケアを必要とする子どもについては、自立支援計画に基づき心理支援プログラムが策定されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設における職員間の連携が強化されるなど、心理的支援が施設全体の中で有効に組み込まれている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 心理的ケアが必要な子どもへの対応に関する職員研修やスーパービジョンが行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員が必要に応じて外部の心理の専門家からスーパービジョンを受ける体制が整っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 心理療法を行うことができる有資格者を配置し、心理療法を実施するスペースを確保している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 児童相談所と連携し、対象となる子どもの保護者等へ定期的な助言・援助を行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

心理士を配置し心理療法を行うことができるスペースを確保している。必要に応じて、心理士がカンファレンスに参加し、その見立てに基づき心理支援プログラムの作成を行っている。子どもの通院時等の際に医師に相談して助言を受けている。

(9) 学習・進学支援、進路支援等

①	A21 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 静かに落ち着いて勉強できるようにその時の本人の希望に沿えるような個別スペースや学習室を用意するなど、学習のための環境づくりの配慮をし、学習習慣が身につくよう援助している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 学校教師と十分な連携をとり、常に子ども個々の学力を把握し、学力に応じた個別的な学習支援を行っている。一人ひとりの必要に応じて、学習ボランティアや家庭教師、地域の学習塾等を活用する機会を提供している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 学力が低い子どもについては、基礎学力の回復に努める支援をしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 忘れ物や宿題の未提出について把握し、子どもに応じた支援をしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 障害のある子どものために、通級による指導や特別支援学級、特別支援学校等への通学を支援している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

個別の部屋で勉強のできる環境を整えている。学校とは担任教師との連絡帳でのやり取りや定期的に懇談を行っている。子どもと一緒に持ち物や時間割などの確認を行っている。学習の遅れのある子どもには個別対応をしている。障害のある子どもに対する配慮を行っている。

②	A22 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 進路について自己決定ができるよう進路選択に必要な資料を収集し、子どもに判断材料を提供し、子どもと十分に話し合っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 進路選択に当たって、本人、親、学校、児童相談所の意見を十分聞き、自立支援計画に載せ、各機関と連携し支援をしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 就労者自立生活支援事業、社会的養護自立支援事業、身元保証人確保対策事業、奨学金など、進路決定のための経済的な援助の仕組みについての情報提供をしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 進路決定後のフォローアップや失敗した場合に対応する体制ができており、対応している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 学校を中退したり、不登校となった子どもへの支援のなかで、就労(支援)しながら施設入所を継続することをもって社会経験を積めるよう支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 高校卒業後も進学を希望する子どものために、資金面、生活面、精神的面など、進学の実現に向けて支援、情報提供をしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 高校卒業して進学あるいは就職した子どもであっても、不安定な生活が予想される場合は、必要に応じて措置延長を利用して支援を継続している。	<input type="radio"/>

【コメント】

現在対象となる子どもは受け入れていないが必要に応じて関係機関と連携をして対応する体制及び仕組みがある。

③	A23 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 実習を通して、社会の仕組みやルールなど、自分の行為に対する責任について話あっている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 実習を通して、金銭管理や生活スキル、メンタル面の支援など、子どもの自立支援に取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 実習先や体験先の開拓を積極的に行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職場実習の効果を高めるため、協力事業主等と連携している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> アルバイトや、各種の資格取得を積極的に奨励している。	<input type="radio"/>

【コメント】

現在対象となる子どもは受け入れていないが必要に応じて関係機関と連携をして対応する体制及び仕組みがある。

(10) 施設と家族との信頼関係づくり

①	A24 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設の相談窓口および支援方針について家族に説明し、家族と施設、児童相談所が子どもの成長をともに考えることを伝え、家族と信頼関係を構築できるよう図っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員の役割を明確にし、施設全体で家族関係調整、相談に取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅などを取り入れ子どもと家族の継続的な関係づくりに積極的に取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 外出、一時帰宅後の子どもの様子を注意深く観察し、不適切なかがわりの発見に努め、さらに保護者等による「不当に妨げる行為」に対して適切な対応を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもに関係する学校、地域、施設等の行事予定や情報を家族に随時知らせ、必要に応じて保護者等にも行事への参加や協力を得ている。	<input type="radio"/>

【コメント】

ファミリーソーシャルワーカーを配置し家族との面談を実施している。相談員の役割については職務分掌に明確化されている。個別のお便りを保護者に送り様子を伝えている。(初めて帰省する児童については帰省中の様子の記録に協力してもらう。)また、参観日等の行事予定については保護者に伝えるようにしている。

(11) 親子関係の再構築支援

①	A25 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員を中心に、ケースの見立て、現実的な取組を可能とする改善ポイントの絞り込みを行うなど、再構築のための支援方針が明確にされ施設全体で共有されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅、あるいは家庭訪問、施設における親子生活訓練室の活用や家族療法事業の実施などを通して、家族との関係の継続、修復、養育力の向上などに取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 児童相談所等の関係機関と密接に協議し連携を図って家族支援の取組を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

家庭再構築に向けたケースについては関係機関との協議を行い、方向性を探っている。面会や外出の機会に保護者と面談をし悩みを聞きながら支援に繋げている。また、親子訓練室を活用して段階に応じて家族との生活の体験を行い養育力の向上を図っている。必要に応じて児童相談所と連携をして家庭訪問等を行っている。